

# Future

外国人材の建設キャリア

海外で働くことは、人生において大きなチャレンジです。特定技能外国人は、どんな経験を経て「今」にいたるのか。「この先」にどんな夢を見据えているのか。チャレンジャーたちのキャリアをご紹介します。



株式会社山之内工建  
氏名 **NGUYEN THANH LONG**  
愛称 **ロンさん(27歳)**  
特定技能開始日:2020年9月1日  
滞在期間:9年目  
出身:ベトナム



日本で働き続ける  
覚悟ができた今、目標は  
この国で家を買うこと

## 約3カ月の訓練後に 緊張の現場デビュー

入社直後はまず加工場で釘打ちなどの簡単な作業の練習からスタートしました。そして3カ月ほど訓練した後に現場デビューです。私の初めての現場は鹿児島市内の9階建てマンションで、とても緊張したのを覚えています。



入社  
来日

技能実習生  
1年目  
19歳

技能実習生  
2~5年目  
20歳

特定技能  
外国人  
1年目  
24歳

25歳  
特定技能  
外国人  
2~3年目

現在

私の夢

日本で働き続けると決めたので、今の目標は日本で家を買うことです。ベトナムにいる両親も応援してくれているので、必ず叶えたいです。

登録支援機関のお花見で奥様と出会い、お付き合いがスタート。「週末にお弁当を作ってくれる彼女にやさしさや思いやりを感じて結婚を決めました」



結婚

## 日本語の試験に合格して免許取得！ ベトナム人だけで現場へ

特定技能になってすぐに取りに行ったのが運転免許です。実技はそれほど難しくなかったのですが、何よりも苦戦したのが日本語のテキストです。ひらがなは読めるのですが、とにかく漢字が読めない。結局、二度試験に落ちて、三度目のチャレンジで合格することができました。初めて後輩たちを車に乗せて、ベトナム人だけで現場に行った時はとても緊張しました。現場にいた他社の職人たちは「日本人はいないの？」と驚いていました。



職人として  
活躍の場を広げたい！

## 一人で任されることに 大変さよりも楽しさを感じた

2年目になると、それまで日本人の先輩と一緒にしていた組み立てを一人で任せてもらえるようになりました。大変でしたが、1年目に覚えたことを自分で試せるので、楽しいという思いのほうが強かったです。3年目には図面をもらい、基礎工事を任されるなど、徐々に仕事の難易度も上がっていきました。またこの頃になると、ベトナム人の後輩に仕事を教えるようにもなりました。



2023年11月30日取材

## 先輩たちから日本の魅力を聞いて日本で働くことを決意



高校の時に、近所に住む先輩たちが日本へ働きに行っていて、「日本はいいところだよ」と教えてもらいました。それで私も卒業後は日本へ行こうと決めました。でも、建設業についてはまったく経験がなく、日本語学校へ通い始めてからどんな仕事かを知りました。